

<2014年,9月27日の御嶽山の噴火に関連のありそうな前兆データについて>

1、概要：

戦後最大の犠牲者を出した御嶽山の噴火について、多くの方々から「くるかもではなんらかの前兆現象がとらえられていなかったか？」というご質問がありました。それについては以下の通り検証してみます。

まず、噴火の16日前、9月11日に新潟十日町、岐阜大垣、浜北、御前崎、豊橋2か所、四日市、京都伏見、神戸、という中部から関西にかけての広範囲の9か所の観測点でほぼ完全に重なった1本立ちの同期データが出ています。

この9か所のデータはかつてないような広い範囲の同期でありもし地震性のデータとすると地理的な中央にあたる震源は岐阜から琵琶湖あたりとなります。

従来のくるかものデータではこのような広範囲の同期データは大きい規模の地震の前兆であり、これらの同期した1本立ち以外の観測点に少なくとも数週間程度は続く大きな山なりのデータが出ますが今回の場合、そうした山なりのデータが見当たらない、不思議な同期一本立ちでした。

後でわかったことですがこの広範囲の同期した1本立ちデータの出した9月11日は、御嶽山の前兆地震が1日85回とここ数年で最高の回数を記録した日と同じ日でありました。

これをもってすぐに火山の噴火の予兆が取れた、とはいえませんが、御嶽山の前兆地震の回数が最高になった日と同日に、電磁波ノイズをとらえる、くるかものデータが岐阜を囲むように広範囲に出たことは地下のマグマの動きなど、何らかの噴火の前兆現象をとらえていた可能性はあると思います。

もしこの事例からくるかもの逆ラジオ、電磁波ノイズ測定装置が活火山の小噴火などの前兆データが取れるのであれば鹿兒島の桜島や伊豆大島、軽井沢の浅間山などの周囲に装置を置いてみてときどきある小噴火の前兆との相関関係をとってみたいと思います。以下、9月11日前後のデータを掲載します。

2、詳細データ等について：

① 9月11日に広範囲に同期した1本立ちデータの出現

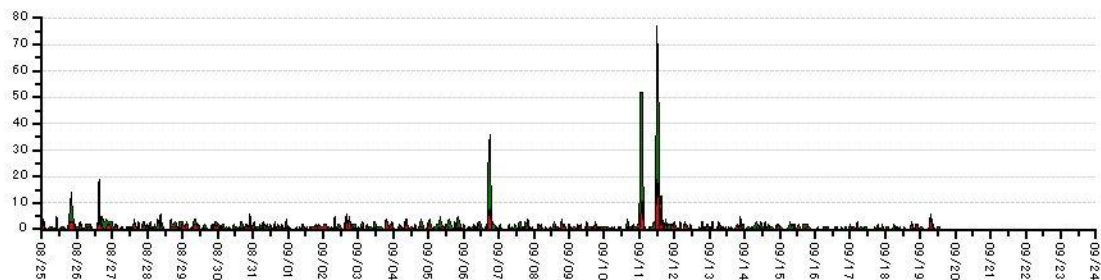
9月11日に新潟十日町、岐阜大垣、浜松、御前崎、豊橋の2点、四日市、京都伏見、神戸灘、の中部～関西の広範囲にまったく同期して重なるデータが出ています。

通常ではこのような広範囲の同期データは大きい地震の前兆になり、どこか数か所に大きな山なりのデータが出ますがこの場合、山なりのデータが見当たらない、

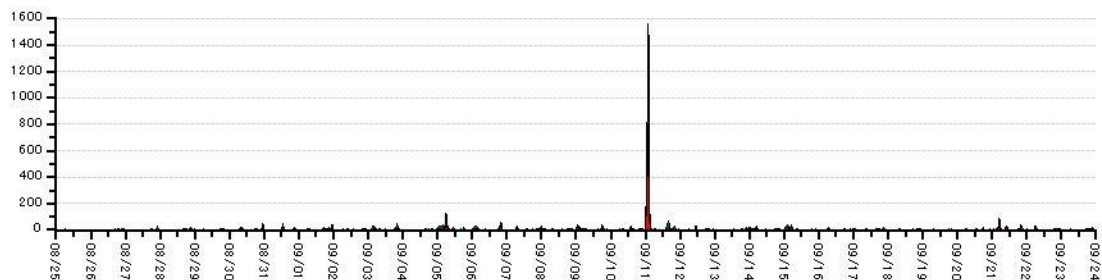
不思議な同期一本立ちでした。また地図をみると複数データの中央は岐阜～琵琶湖あたりになりますがこの周辺に大きいデータがみられず中部の地震とは考えられませんでした。

<9月11日に1本立ちデータの出た観測点>

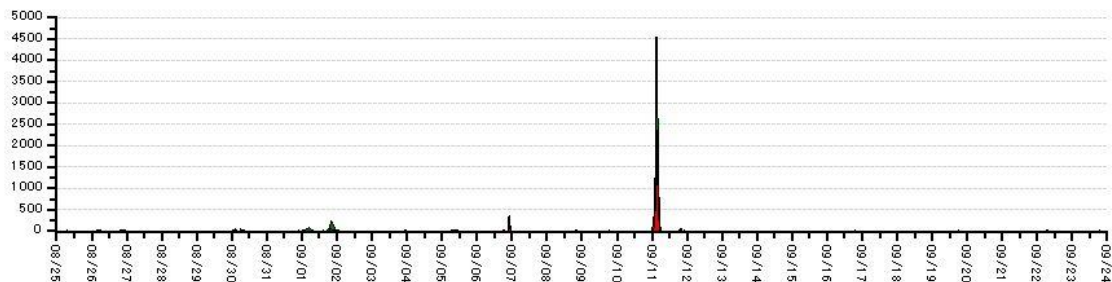
岐阜大垣265



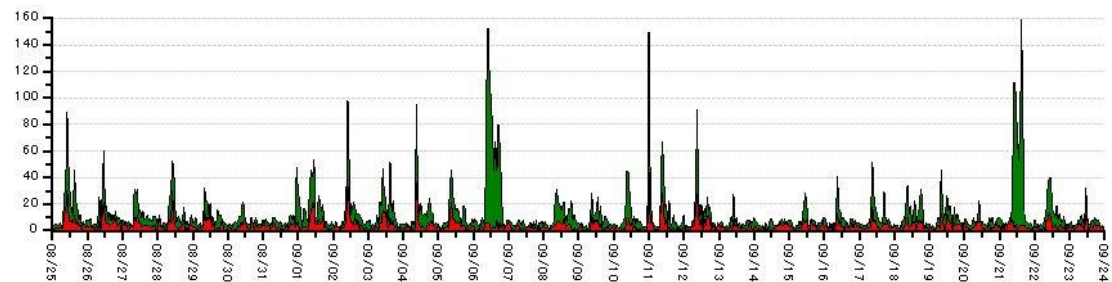
浜松市浜北255



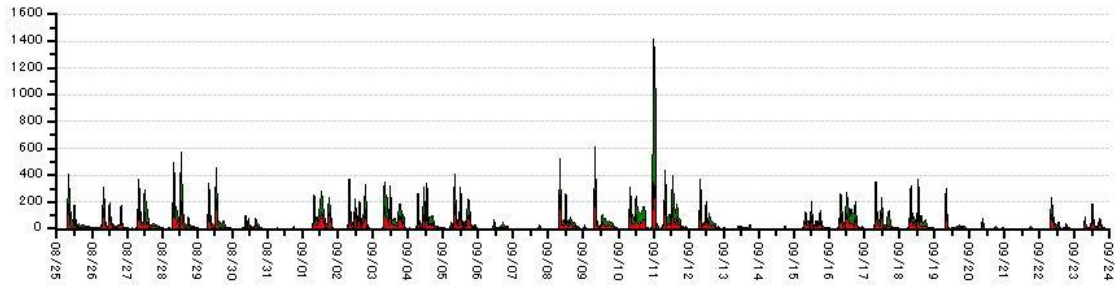
御前崎443



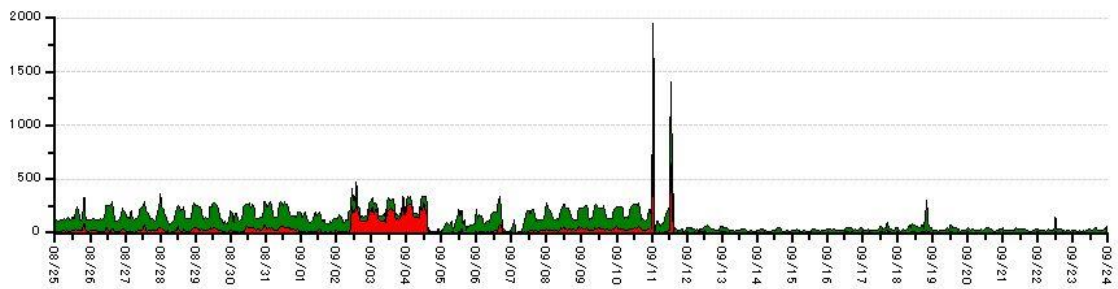
豊橋 244



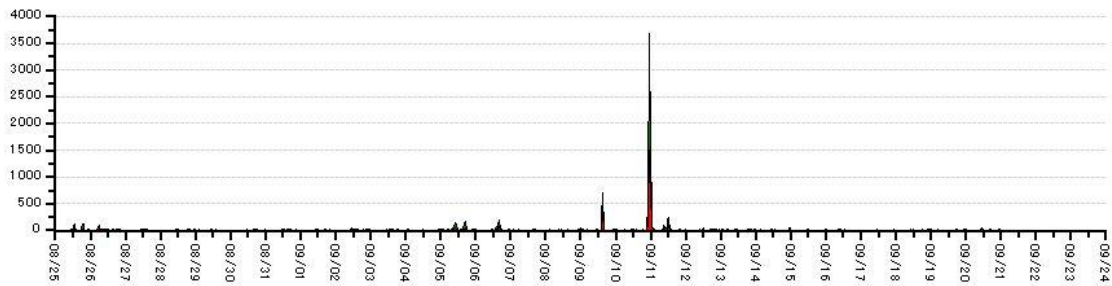
豊橋 245



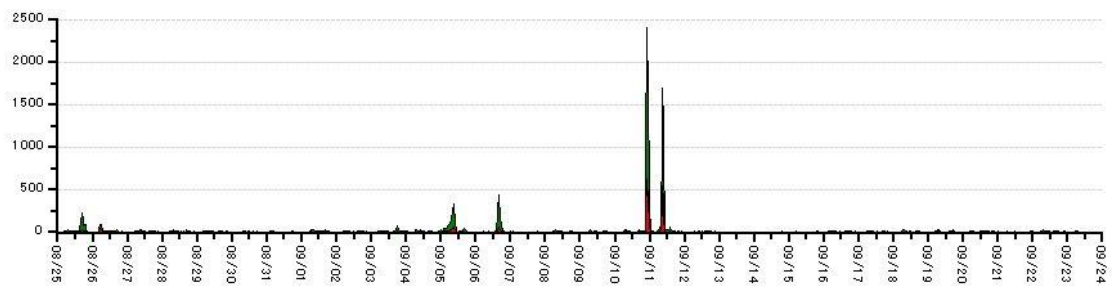
四日市TS-416



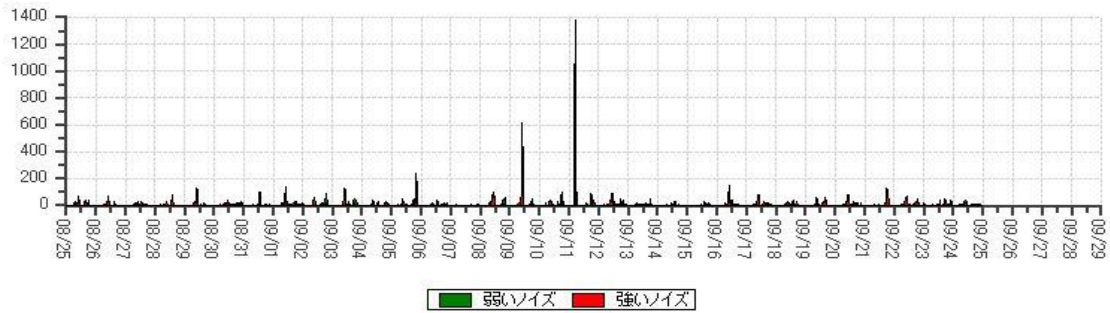
京都伏見-B 0410



神戸市灘区250



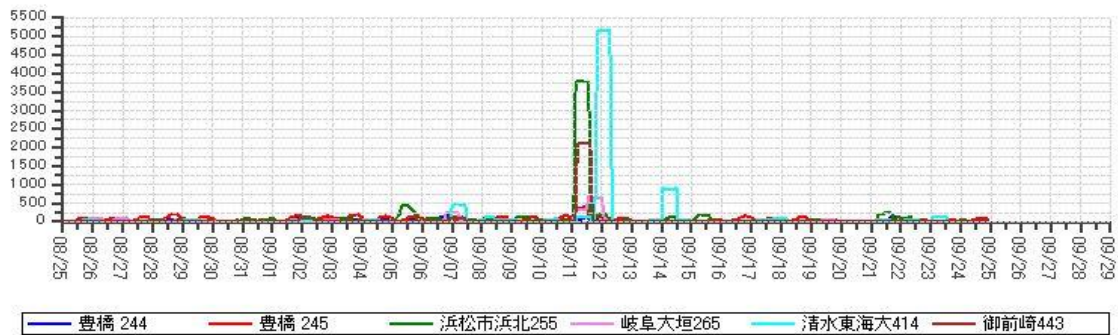
十日町



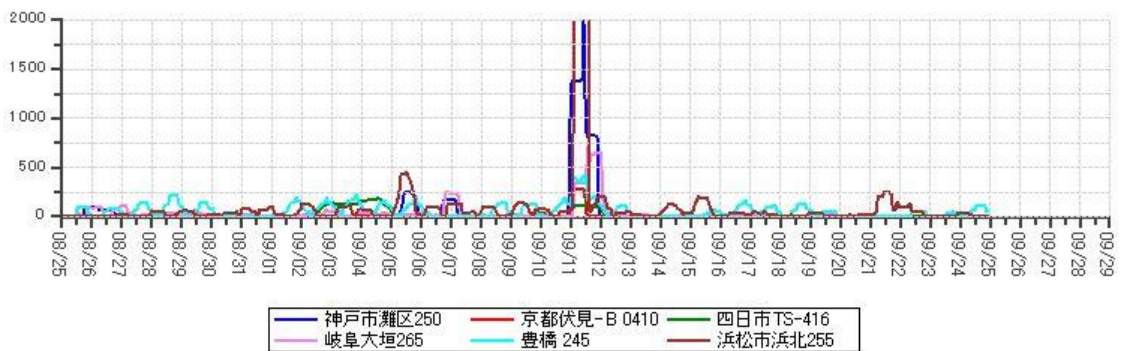
② 比率処理データでの同期の検証：

上記の新潟十日町、岐阜大垣、浜松、御前崎、豊橋の2点、四日市、京都伏見、神戸灘、の中部～関西の広範囲の同期データを 比率処理すると以下のグラフのようにきれいな重なりがみられる。

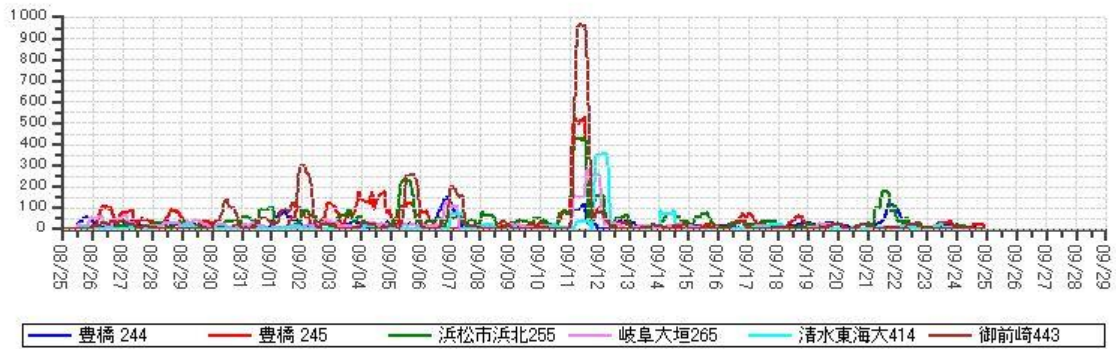
比率処理(半年平均)



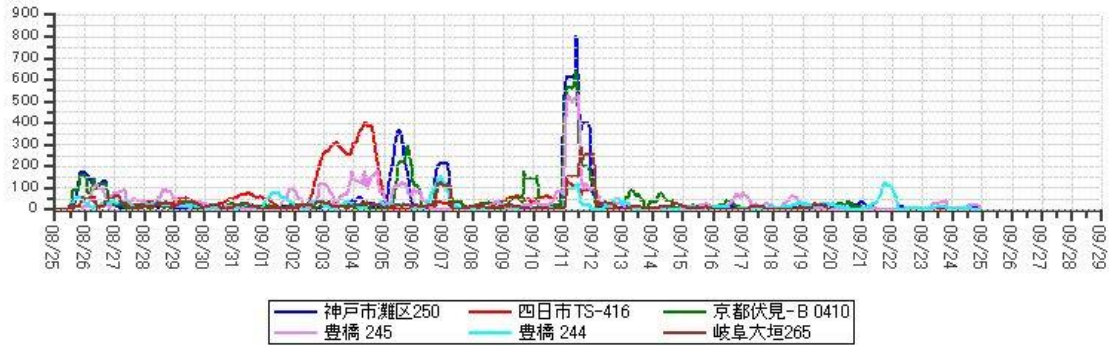
比率処理(半年平均)



比率処理(時間毎)

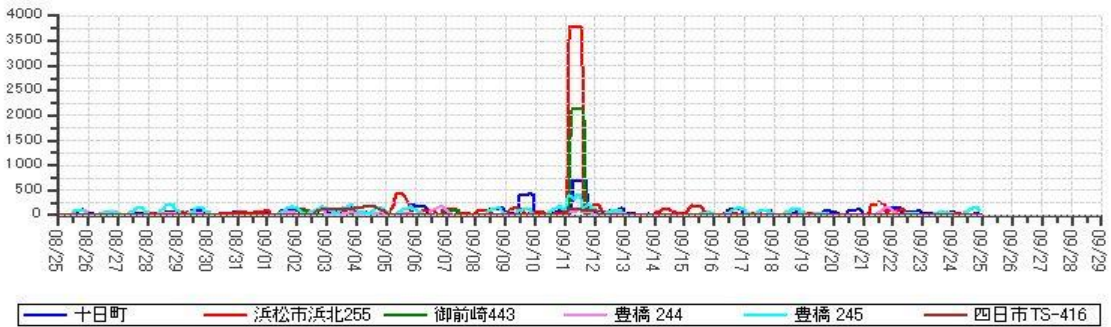


比率処理(時間毎)

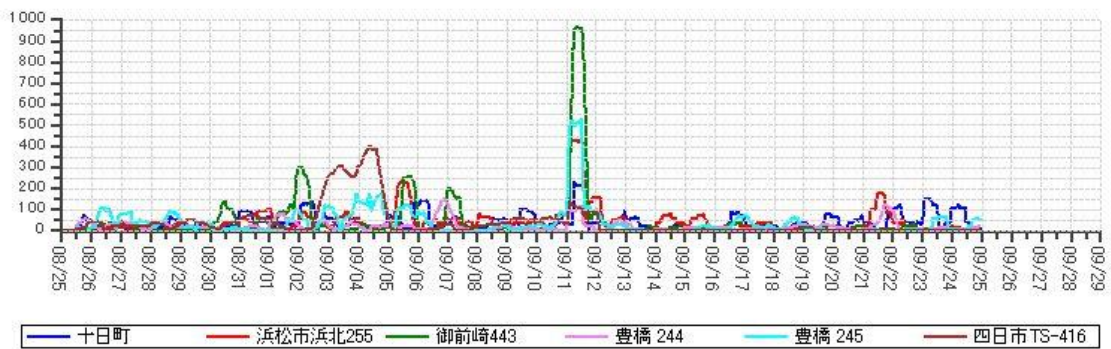


新潟 十日町のデータを加えた比率処理データ

比率処理(半年平均)



比率処理(時間毎)



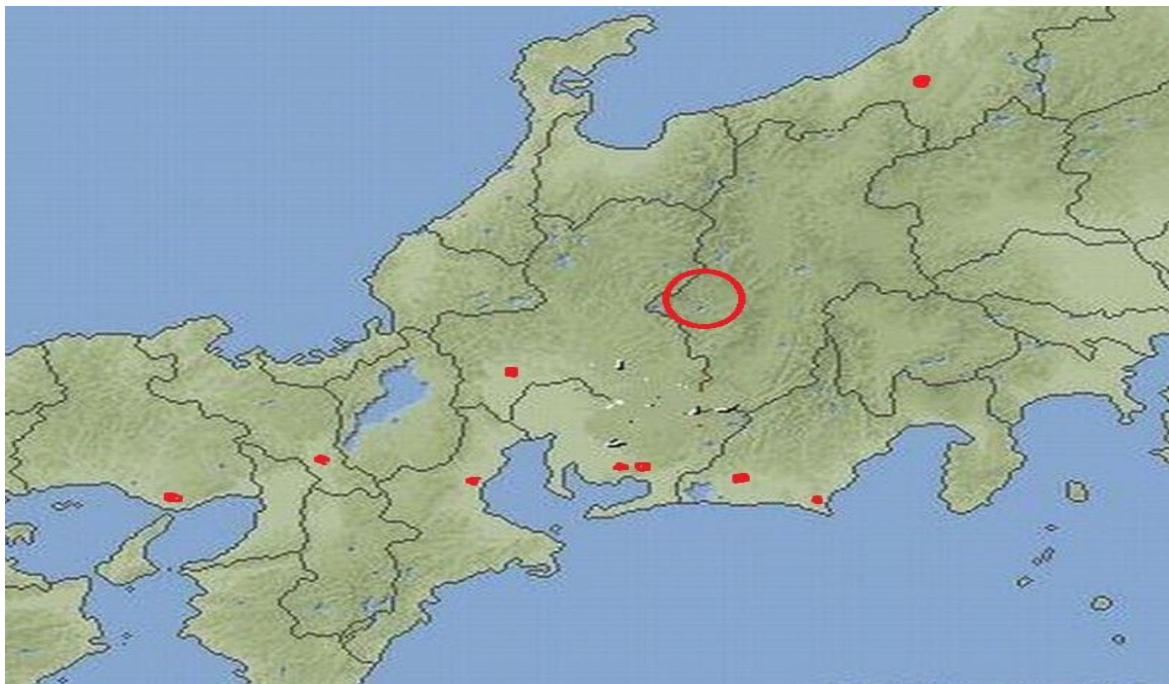
ここまでの考察 (9月24日) :

2014年9月11日の近辺に 東海～関西の広範囲に同期データが出ている。
新潟十日町、岐阜大垣、浜松浜北、豊橋、四日市、京都一伏見、神戸一灘であり
新潟から、浜松、さらに神戸までの広範囲の同期データは極めて珍しい。

③ 同期データの出た観測点の位置

<赤点が 同期したデータの出た観測点

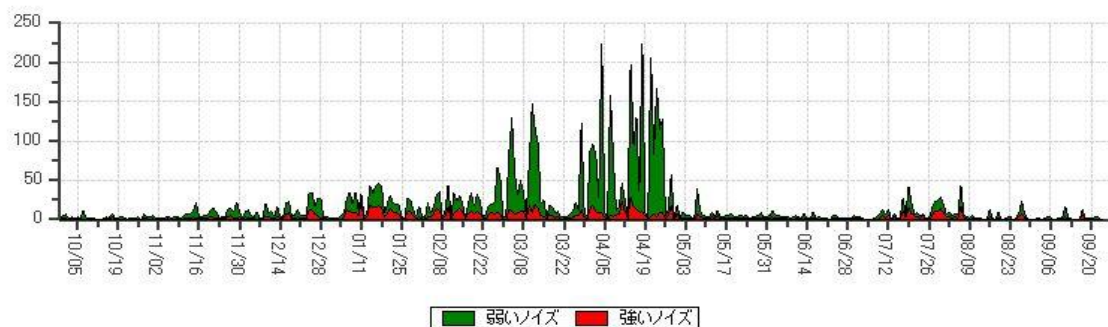
<中央赤丸は御嶽山のおおよその位置



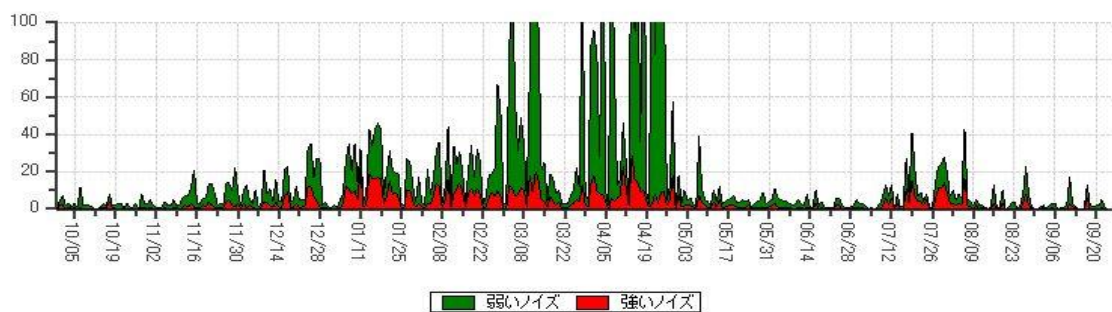
④ その他の周辺データ：

名古屋（錦）、和歌山（大地）は収束してきている。

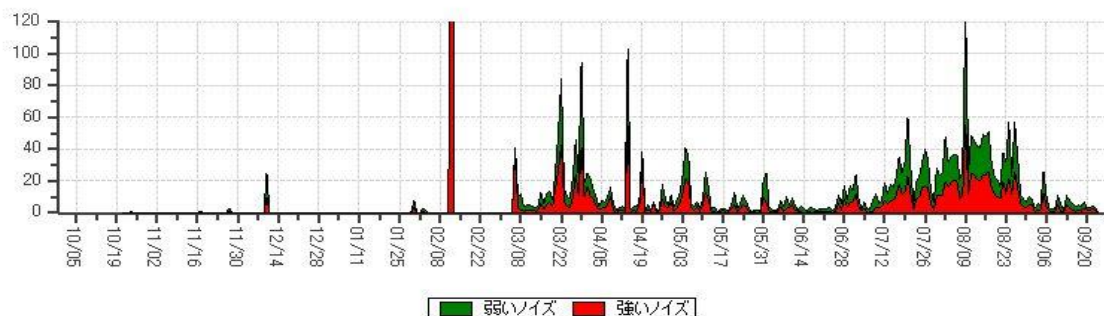
名古屋錦251



名古屋錦251



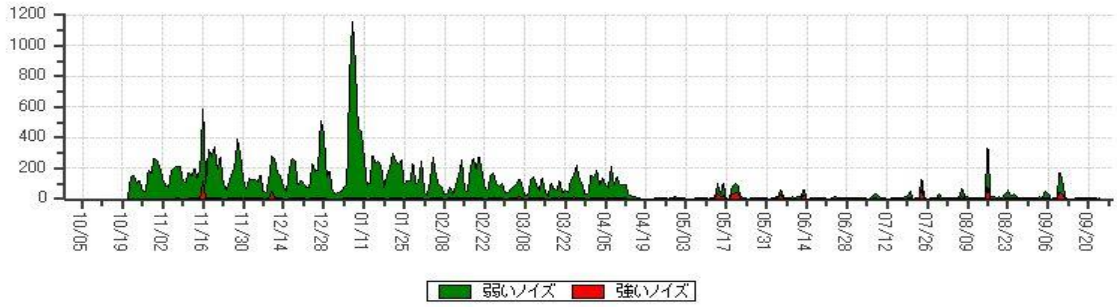
和歌山太地415



和歌山太地415

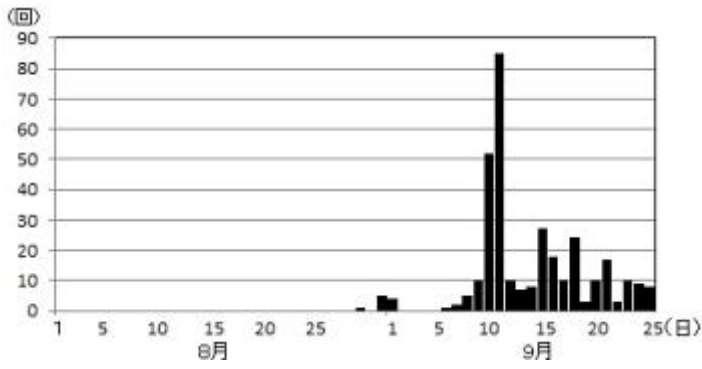


神戸市灘区250

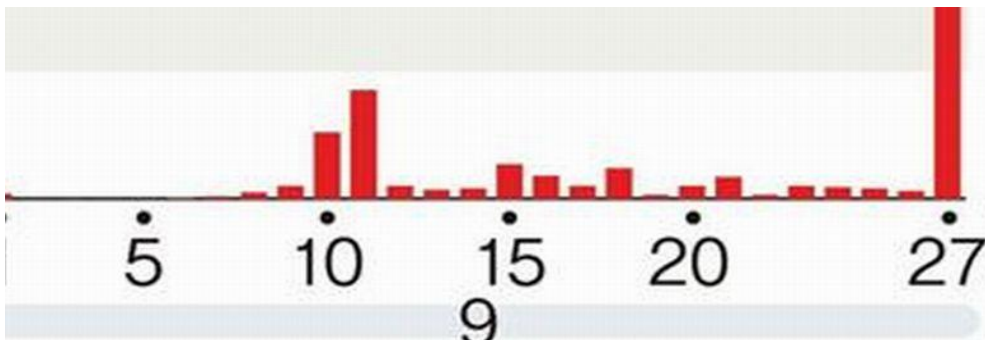


⑤ 噴火まえの火山性地震のデータ：

御嶽山の噴火まえの火山性地震の回数の記録（気象庁 HP より）



拡大した図



御嶽山の火山性の地震としては 9月8日から次第に増加し、9月10日に 52回、
9月11日が 85回 と最多の地震回数になる。またその後増減を繰り返し収束していく。

噴火の発生： 9月27日 午前11時52分

